

事業群評価調書(令和6年度実施)

基本戦略名	2-3 環境変化に対応し、一次産業を活性化する	事業群主管所属・課(室)長名	水産部 水産加工流通課	森川 晃
施策名	3 養殖業の成長産業化と加工・供給体制の強化	事業群関係課(室)		
事業群名	③ 県産水産物の国外販売力の強化	令和5年度事業費(千円)	※下記「2. 令和5年度取組実績」の事業費(R5実績)の合計額	41,350

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)							(取組項目)				
輸出先国における産地間競争が激化する中、海外市場での競争力を高めるとともに、新規市場の開拓により輸出の継続・拡大を図るため、社会経済の変動にも対応できる更なる商品力の強化や安定生産・供給体制の構築等を推進します。							i) 県産水産物の輸出促進(海外での本県水産物のPR、海外ニーズに合う商品づくり、輸送ルートや新規販路の開拓)				
事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)	
	目標値①			40億円	42億円	46億円	48億円	50億円	50億円 (R7)		
	実績値②		27億円 (H30)	42.2億円	71.5億円	64.1億円			進捗状況		
	達成率 ②/①			105%	170%	139%			順調		
水産物輸出額											本県水産物の輸出はH25年度以降右肩上がりで推移しており、現在25事業者が15か国以上の国・地域へ輸出を行っている。また近年は韓国向け養殖ブリの輸出などが大幅に増加しており、R5年度の輸出額は64億円となり、目標を達成した。 なお、中国では、令和5年8月以降ALPS処理水放出に伴い日本産水産物の輸入停止が続いていることから、今後も、中国の動向を見極めつつ、中国以外の国への新規開拓等による本県水産物の輸出拡大に引き続き取り組んでいく。

2. 令和5年度取組実績(令和6年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要 令和5年度事業内容及び実施状況 （令和6年度新規・補正事業は事業内容）	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				令和5年度事業の成果等	
				R4実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R4目標	R4実績	達成率		
				R5実績					R5目標	R5実績			
				R6計画					事業実施の根拠法令等				R6目標
				事業期間	法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業		他の評価 対象事業 (公共、研究等)					
				所管課(室)名				事業対象					
取組項目 i	○	1	長崎産水産物海外販路 開拓事業費	80,259	35,043	22,959	●事業内容 多様な国・地域への新規輸出支援及び販促PRなどにより本 県水産物の海外販路開拓を促進する。 ●実施状況 令和5年度は、ALPS処理水放出による中国の日本産水産物 の全面輸入禁止の対策として、新たに「長崎鮮魚」の香港・韓国 への市場開拓を実施した。また、東南アジア及びEU向けへの輸 出強化を目指す生産者等の新たな取組の支援を行った。	【活動指標】	10	13	130%	●事業の成果 ・香港向けにマグロ、韓国向けにブリ・シマアジ・ マダイなど5魚種の試験輸出を実施した。また、 新規販路開拓にチャレンジする生産者等を支援 し、東南アジア向けにブリ・シマアジ・クロマグロ 及びEU向けの甘鯛の試験輸出、米国では東海 岸への販路拡大が行われ、養殖ブリの新規輸 出取引に繋がった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・新たな販路開拓を推進し、水産物の輸出拡大 を図ることで、中国の輸入禁止措置の影響を最 小限に留め、輸出額の目標達成に寄与した。	
				41,350	25,078	38,295			10	10	100%		
				58,967	40,650	38,905			10				
				R4-6	—			【成果指標】	2	2	100%		
						2			2	100%			
			水産加工流通課					—	—	—	輸出業者及び輸出予定業者		新規輸出取引件数

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i 県産水産物の輸出促進(海外での本県水産物のPR、海外ニーズに合う商品づくり、輸送ルートや新規販路の開拓)	
●実績の検証及び解決すべき課題 令和5年度については、ALPS処理水放出により中国が日本産水産物の全面輸入禁止措置を取り、本県水産物の輸出にとって大きなアドバンテージを失うことになったが、「長崎鮮魚」をはじめ中国以外の国や地域への試験輸出や、各事業者による販路拡大に対する支援及び輸出証明書の円滑な発行等に取り組んだ結果、目標値46億円に対して、実績値64億円となり、試験輸出実施件数、新規輸出取引件数とも目標を達成した。 しかしながら、本県最大の水産物輸出国である中国の輸入再開の見通しは全くたっていないため、中国以外の新たな国や地域への販路開拓や、信頼できるパートナーの発掘などに取り組む必要がある。	●課題解決に向けた方向性 中国以外の新たな国や地域への販路開拓に向け、「長崎県水産物海外普及協議会」構成員等と連携した販促PR活動や新たな海外販路開拓にチャレンジする生産者や加工業者等への支援などの取組を進めていく。

4. 令和6年度見直し内容及び令和7年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和6年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和6年度の新たな取組は「R6新規」と、見直しが無い場合は「―」と記載	令和7年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 i	○	1	長崎産水産物海外販路開拓事業費	令和5年8月以降ALPS処理水放出に伴い日本産水産物の輸入停止が続いていることから、輸入停止解除後の速やかな輸出体制の維持とともに、新たにタイなどへの「長崎鮮魚」の試験輸出や香港・韓国等のバイヤーの産地招聘による「長崎鮮魚」のPR・販路開拓に取り組んでいる。	②	中国の輸入再開を視野に、本県が他県に先がけて輸出再開できる体制を維持するとともに、再開した折には、これまで実績がある市場への信頼回復及び広域開拓を加速させる。 また、本県産水産物の更なる輸出拡大に向けては、新たな国や地域への販路開拓が必要であり、「長崎県水産物海外普及協議会」構成員等と連携した販促PR活動や新たな海外販路開拓にチャレンジする生産者や加工業者等による試験出荷、市場調査、商談等への支援を強化する。	改善
			R4-6				
			水産加工流通課				

注:「2. 令和5年度取組実績」に記載している事業のうち、令和5年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】
① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
⑩ その他の視点